



# 中央小だより

令和 4 年 5 月 No. 2  
旭市立中央小学校  
児童数 650名

## 「こどもの日」に想う

校長

大型連休も終わり、学校に子どもたちの歓声が戻ってきました。子どもたちがいるからこそこの学校だと改めて感じました。

連休中の「こどもの日」を前に総務省から以下のような発表がありました。

“2022年4月1日現在におけるこどもの数（15歳未満人口）は、前年に比べ25万人少ない1465万人で、1982年から41年連続の減少となり、過去最少となりました。男女別では、男子が751万人、女子が715万人となっており、男子が女子より36万人多くなっています。”

25万人というと、旭市・銚子市・匝瑳市・香取市・東庄町・多古町の4市2町の総人口とほぼ同数です。少子化が確実に進んでいることが分かります。

さて、「こどもの日」は、『こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する。』日です。ここでの“幸福”とはどのようなことなのでしょう？

アルフレッド・アドラーによると、『幸せの三要素は、自分自身が好きかどうか。よい人間関係を持っているかどうか。そして、人や社会に貢献しているかどうか。』ということだとされています。

学習指導要領の前文に、教育を通じて目指すことや学校の果たすべき役割が示されています。

これからの学校には、こうした教育の目的及び目標の達成を目指しつつ、一人一人の児童が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。

出典：文部科学省『小学校学習指導要領（新学習指導要領）』（2017年）前文より一部抜粋

※全国のどの地域で教育を受けても、一定の水準の教育を受けられるようにするため、文部科学省では、学校教育法等に基づき、各学校で教育課程（カリキュラム）を編成する際の基準を定めています。これを「学習指導要領」といいます。

**自分自身が好き**＝自分のよさや可能性を認識する

**よい人間関係を持っている**＝あらゆる他者を価値のある存在として尊重

**人や社会に貢献している**＝多様な人々と協働・持続可能な社会の創り手

**幸福**＝豊かな人生 と考えると「**学校は幸せになるための場所**」でなければなりません。

「**幸せになるための場所**」として、「今日、元気に楽しく過ごすことができる場所」であり「卒業しても充実した人生を過ごせるように力をつける場所」であるということが求められると思います。この実現のために学校があり、教職員がいるということを肝に銘じ、これからも「チーム中央小」で子どもたちのために教育活動を進めてまいります。

## 4月を振り返って

### 入学式



4月8日（金）に入学式を行いました。コロナ禍での開催となり、新入生と保護者の方、職員の参加で実施しましたが、95名の新入生は堂々と入場し、立派に返事ができました。児童650名でのスタートです。



4月14日（木）に避難訓練を実施しました。雨天のため一次避難までの実施でしたが、机の下への避難や教室からどのように避難するのか確認しました。どの児童も真剣に取り組みました。



### 避難訓練

### 1年生交通安全教室

4月26日（火）市の職員、警察、交通指導員の方々のご協力のもと、交通安全教室を行いました。安全に気を付けながら、学校周辺道路を歩行しました。



### 陸上部結団式

4月11日（水）に陸上部結団式を行いました。5・6年参加児童は、自分の目標を定めて決意を新たにしていました。



### 1年生を迎える月間

4月25日（月）から、「1年生を迎える月間」が始まりました。2年生は1年生を迎えて集会を行いました。みんなで一緒に「カラダジャンケン」をして楽しみました。アサガオの種もプレゼントしました。



ホームページでは、学校だよりをカラーで御覧いただけます。

<http://www.edu.city.asahi.chiba.jp/es-asahichuou/ichiran/index.html>